

第9号 バージャー病NEWS

2016年3月3日発行
発行：認定NPO法人バージャー病研究所
〒302-0118
茨城県守谷市立沢 980-1
TEL 0297-47-9955
FAX 0297-45-4541
http://www.keiyu.or.jp
E-mail:vascular@keiyu.or.jp
発行者：岩井武尚
編集：小笠原敏子・宮口順一

バージャー病患者さんが 歳を取るとどうなるか？

これが次の課題を解く カギになります。

バージャー病患者さんは、我が国では8000人程度おられるのではないかと推定されています。しかし、実際の診療に従事していると、この厚労省の統計から漏れている人が沢山いるように思えます。

病気の段階を初期、中期、晩期と分けると、まず統計から漏れるのは初期の患者さんです。

初期の人とはバージャー病の届け出がなく、いつか禁煙して、症状が軽快してしまう人です。最近つくば血管センターで診断に到った例では、そんな方が何人もいます。

もう一つは重症で晩期の人です。生活のために国の保護を受けると統計のもとになる病名が消えてしまします。そんなことから多分現在わが国には、1万人以上のバージャー病に悩む人がいると考えています。

アジア全体では100万人以上と推定されています。

さて、バージャー病の人が年を取るとどうなるのでしょうか？

30歳代で足や手の血管が詰まって、典型的なバージャー病と診断された方を何人か追跡することができました。

もともと診断時にきびしく動脈硬化になる因子を除外するので、限られた人だけが動脈硬化を引き起こしてきます。さらに手術が必要となり、血行再建を行い動脈の一部材料が取れた人に限ると2人くらいになりました。

その2人は、タバコを50歳代まで止めていませんでした。そして、50代になつたころ、足の付け根となる鼠蹊部から上の血管が詰まり始めたのです。おなか付近の血管といえるかもいれません。この部位の血管はふつふつと動脈硬化（粥状硬化と呼びます）になるといわれています。

通常のバージャー病の人は、重症になつて足の切断などを機会に禁煙します。生活も質素になりますから、もともとなかった動脈硬化は出現しないのですが、なかにはこの例のようにバージャー病に老化現象の動脈硬化が重なつてくることもあるのです。

これが重要です。バージャー病が進行するとすれば、動脈硬化症が追加されると考えられます。

50歳を過ぎると、指先などではなく中等度以太い動脈に歯周病菌がくっつくことになることが判つたのです。その役割を担つたのが、白血球の一種である単球なのです。

動脈硬化にはその他の因子も加わるので、複雑な形でバージャー病のある血管は、



アンギオ2



アンギオ1



とこの老化は進むことになるわけでは、バージャー病患者さんは、どうなるか？

答えは、50歳代に入つたら禁煙を維持して、高血圧、脂質異常症、糖尿病にならないように努力することが必要になるわけです。

★第5回バージャー病&PADフォーラム inカンボジア★

昨年11月にカンボジアのプノンペンにて開催された本フォーラムに初めて参加させていただきました。フォーラムでは、カンボジアはもちろんのこと中国やタイ、日本など4か国19名の先生から講演がありました。

演題は各国での症例報告をはじめ、バージャー病を含む血管疾患と歯周病菌の関係などが紹介され、特にその病因についてはほぼ解明されたことが発表されました。

血行再建や虚血性足のケアなど臨床のケースでは外科手術による劇的な改善を垣間見ることができ、バージャー病の恐ろしさとその治療による見事な回復を身近に感じることができました。

Sokk Chea 先生からは現地の歯科大学での変遷と現状についての講演がありました。過去のカンボジア国内での政治的な混乱と安定が現在の大学教育にまで大いに影響しているという話を聞いて衝撃を受けました。

そのような難しい環境下でも、大学において行われている歯科臨床レベルの高さに驚かされました。

日本で行つた歯科治療としても十分にレベルの高い治療を受けることは難しいとしても、着実に世界水準の治療が浸透していると感じました。

私自身は今、東京医科歯科大学歯学部附属病院、東京医科歯科大学歯科データについて発表しました。

末梢血管疾患患者ではその他の疾患を有する患者と比較して圧倒的に少ないという結果を報告しました。

末梢血管疾患患者では歯周病菌に対する抗体反応が高いことが原因となつておるといわれています。

を紹介させていただきました。

来年はベトナムでの開催と聞いております。バージャー病関連の研究と撲滅の活動がより進むことを願っております。

(東京医科歯科大学 歯周病学分野 青山典生)

本フォーラムは、公益財団法人推進会様よりご支援をいただき開催されました。

に協力をお願いいただき、一部抽出した脳動脈の一片から細菌遺伝子の証明をはじめ、口腔内の細菌が重篤な脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に関与しているであろうという研究に日々取り組んでおります。

茨城県南部、守谷より証明された結果を日本全国に、世界に、予防医療として発信出来れば幸いです。

(守谷慶友病院脳神経外科 稲葉 息)

私はいくらもかある

今回の対談は、FHさん。47歳の男性です。左手示指の先端潰瘍、疼痛・冷感(写真)と左足の冷感で来院されました。喫煙歴は30年で1日20本程度ということです。2年前に左足の静脈の炎症もありませんでした。しかし、高コレステロールや高血圧、糖尿病などの血管に悪影響を及ぼす因子も無いことからバージャー病が強く疑われました。



★足の症状はどんなでしたか？

左足の親指や小指付近が冷たく感じました。特に冬の間はつらかったのを覚えています。

★禁煙できた最大の理由はなんですか？

やはり指の切断の恐怖と足もダメになるかもしれないという不安です。それに、たばこはいつでも辞められるような自信がありました。家族や専門医師からの説明が後押ししてくれたと思います。

★歯科を受診していただきましたがその結果はいかがでしたか？

見た目にはわかりませんでしたし症状もありませんでした。歯科へ行つたらかなりの歯周病が見つかりました。歯周ポケットより膿が出ていましたし、出血率83%で、歯牙が動揺していました。定期的に歯科診療をおこない、ある程度治療をおこなえば歯の喪失は免れるかもしれないといわれています。

最終診断のために動脈撮影を行いました。指先や足先の動脈撮影は依然として、CTや超音波では診断困難です。そこでカテーテルという細い管を肘部の動脈から穿刺して左手と左足の細い血管の撮影を行いました。その結果、一緒に写真を見せてもらいました。

左の手には、示指だけでなく広範囲に閉塞部位が見つかりました。バージャー病特有のコルクの栓抜きのようなくねった血管もありました。左の足にも思つたより広範囲な動脈閉塞が見つかり、この病気が末梢の末梢から動脈が詰まってきたことがよく理解できました。



静脈エコー検査で左の足背静脈に器質性血栓が確認できました。したがって、バージャー病は確定です。この先冷感とどのように付き合っていくか考えたいと思います。

以上で対談は終わりましたが、昔のような重症な進行例が最近減ってきています。それは早期診断、早期治療の目が患者さんの側にも、医師の側にも、だんだん育ってきているからではないでしょうか。

当法人は皆さまからの寄付金により運営されています。たくさんのご支援、誠にありがとうございます。

■寄附受付口座：
筑波銀行 南守谷支店 普通・1057042

■口座名：
特定非営利活動法人バージャー病研究所
代表/岩井武尚

■事務局連絡先：0297-47-9955
担当/小笠原

認定NPO法人の寄付金控除について

バージャー病研究所は、国税庁より「認定NPO法人」としての認定を受けていますので寄付をいただいた場合、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。

■個人所得稅の寄付金控除について
寄付額が2,000円を越える場合、確定申告をすることで、寄付金控除(所得控除)または寄付金特別控除(税額控除)のいずれかが選択出来ます。

■個人住民稅(地方稅)の寄付金控除について
個人住民稅(地方稅)の計算において寄付金控除が適用される場合があります。詳細は、お住まいの市区町村または都道府県までお問い合わせください。

■法人からの寄附について
認定NPO法人等に対する寄付金は、一般の寄付金とは別枠で寄付金の額の合計額と特別損金算入限度額とのいずれか少ない金額の範囲内で損金に算入されます。

■相続財產の寄附について
一定の場合を除いて、相続稅の課稅対象から除かれます。

各種手続きには当研究所が発行した領収書が必要です。お手元がない場合は、事務局へお申し付けください。また、控除等に関する詳細は所轄稅務署にお問い合わせください。

血管のお薬

血管に効くという薬というのが「ちまた」にあふれています。ついこないだは、バレンタインデーの新聞の一面広告に「チョコレート」が血管に効く、と宣伝されていました。

また、青魚成分が有効とされているのは、よく知られたことで、EPAとして調剤薬にもなっています。魚を食べることはお奨めです。

一般に血管拡張作用のあるものは有効とされますから、お酒もいいたくないかといわかつて、バージャー病患者にアルコールの点滴を行った歴史があります。病室が酒臭くなって、患者が酔っぱらって大変なこともあったようです。

(岩井武尚)

それと、血小板の機能を血栓ができにくいと考えられています。非常に多くの薬が発売されています。そこで準じて、深層水がわずかに血小板の機能を落とすことから心臓・血管にいいとされています。

その他いろいろな漢方薬もお茶類もあります。が、なによりも一番いいのは、運動です。歩くこと、動くこと、動かすことが基本です。

バージャー病患者さんが 歳を取るとどうなるか？

これが次の課題を解く カギになります。

バージャー病患者さんは、我が国では8000人程度おられるではないかと言われています。しかし、実際の診療に従事している、この厚労省の統計から漏れている人が沢山いるように思えます。

病気の段階を初期、中期、晩期と分けると、まず統計から漏れるのは初期の患者さんです。初期の人とはバージャー病の届け出がなく、いつか禁煙して、症状が軽快してしまう人です。最近つくば血管センターで診断に到った例では、そんな方が何人かいます。

もう一つは重症で晩期の人です。生活のために国の保護を受けると統計のもとになる病名が消えてしまいます。そんなことから多分現在わが国には、1万人以上のバージャー病に悩む人がいると考えています。アジア全体では100万人以上と聞いています。

さて、バージャー病の人が年を取るとどうなるのでしょうか？30歳代で足や手の血管が詰まって、典型的なバージャー病と診断された方を何人か追跡することができました。

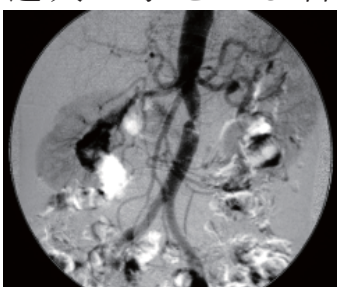
もつとも診断時にきびしく動脈硬化になる因子を除外するの、限られた人だけが動脈硬化を引き起こしてきます。さらに手術が必要となり、血行再建を

行い動脈の一部材料が取れた人に限ると2人くらいになりました。

その2人は、タバコを50歳代まで止めませんでした。そして、50代になったころ、足の付け根となる鼠蹊部から上の血管が詰まり始めたので

か付近の血管といえるかもしれませぬ。この部位の血管はふつうバージャー病ではやられません。またその辺の血管は、血行再建がしやすい成功率が高いのです。おひとりは足の指が一本しかなくなってしまうましたが無事手術で完治しました(アンギオ1)。

もうひとりの方は、重症の歩行障害がありました。おなかを開ける手術で人工血管を入れて普通に歩けるようになりました(アンギオ2)。



アンギオ2



アンギオ1

この二人のおなかの血管の一部を顕微鏡で見るとそれは50歳を過ぎてから増える動脈硬化症に

よるものでした。バージャー病の人も年をとると動脈硬化(粥状硬化と呼びます)になるということです。

通常のバージャー病の人は、重症になって足の切断などを機会に禁煙します。生活も質素になりますから、もともとなかった動脈硬化は出現しないのです。が、なかにはこの例のようにバージャー病に老化現象の動脈硬化が重なってくることがあるのです。

これが重要で、バージャー病が進行するとすれば、動脈硬化症が追加されると考えられます。50歳を過ぎると、指先などではなく中等度に太い動脈に歯周病菌がくっつくことになることが判つたので



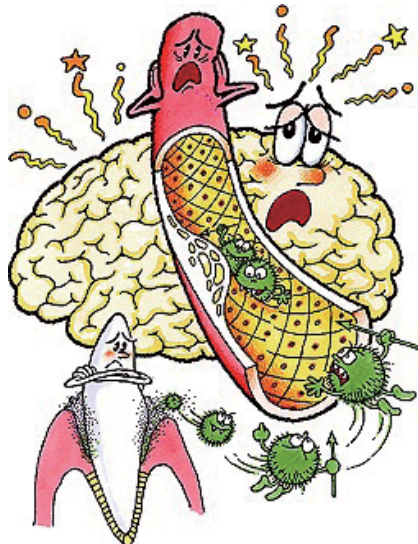
その役割を担ったのが、白血球の一種である単球なのです。動脈硬化にはその他の因子も加わるので、複雑な形でバージャー病のあとの老化は進むことになるわけですね。

では、バージャー病患者さんは、どうするか？
答えは、50歳代に入ったら禁煙を維持して、高血圧、脂質異常症、糖尿病にならないように努力することが必要になるわけですね。

(2016年2月 岩井武尚)

告知板：第九話 目は口ほどに... 口の中は目以上に 物を言います!!

私の関わる脳外科では「眼は体表に出た脳である」とよく言います。眼の状態から病状を把握したり、眼の異常から病気を発見する事があります。ところが、最近になり口の中(口腔内)がやたらと病気の元になると注目され始めました。



病に！バージャー病等の全身血管病に！認知症に！口腔内細菌の管理が大きく物を言う」ということです。食後は当たり前!!私がお口をすっぱくしてよく言う禁煙、及び喫煙後の歯磨き・うがいがとても大切です。さらには、脳卒中領域でも病気の予防に物を言いそうです。口腔内常在細菌、虫歯における齶蝕原生菌、ひいては歯周病の予防が脳卒中予防の一端を担い得る!ということですね。

みなさん、は脳卒中という言葉を耳にする事がよくあると思いませんか。脳卒中は脳梗塞、脳出血、くも膜下出血各々をひっくるめた総称です。最近ではマスコミ各社も脳卒中、認知症の話題を頻繁にとりあげています。世界一のスピードで高齢化が進む日本において脳卒中・認知症の予防は国庫にも影響する大きな関心事です。

脳卒中・認知症予防の重要ポイントには、やはり生活習慣病の予防及び治療です。そこで大切な事は「生活習慣

(守谷慶友病院脳神経外科 稲葉 泉)